

団地だより

三島沢地工業団地協同組合

2022
1月発行
第50号



新年抱負



鈴木基良理事長(ドーワテック(株)社長)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの猛威により、経済的打撃は大きく、全世界の生活環境が一変しました。人との接触を避ける為に外出が減り、リモートで仕事をするなど人が移動をしなくなった事で交通旅客産業は壊滅的状况になり、観光業界も連動しました。昨年後半から輸入食材・資材原料等の輸入品に関して、入手困難な状況から金額が高騰し納期遅延などが発生しています。製造業にも少なからず影響が出ています。2度のワクチン接種により収束傾向にあるように見えた新型コロナウイルスですが、更なる変異株オミクロン株による感染拡大が欧米諸国で進んできました。日本では水際対策と医療機関の感染拡大時の対応準備、飲み薬の開発、3回目ワクチンのブースター接種等、国としての準備を進めているようです。2022年の世界の正常化を願うばかりです。

まだ、コロナショックは継続中という事を念頭に置き、企業活動を進めて頂くよう組合員皆様方のご理解・ご協力をお願い致します。

本年の組合員皆様のご多祥をお祈り申し上げます。



亀谷泰一副理事(カメヤ食品(株)社長)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

コロナ禍から2年が経過しようとしていますが、新たな変異株による感染拡大など、いまだ終息が見えておりません。しかしながら、ワクチンや治療薬など人類の叡知によって、一歩ずつ着実に良い方向へと進んでいるように感じます。またコロナは、私たちの社会や経済に大きなダメージを与えている一方で、様々な変化を生み出し、新しい時代を切り開くきっかけをもたらしたとも言えるのではないのでしょうか。

昨年ホンダがF1レース最終戦で劇的な優勝を飾り、30年ぶりに年間チャンピオンに輝きました。その舞台裏では2000名以上がレースを支えたとのこと。一人ではできないことも力を合わせれば成し遂げられる、そこにグローバル化によるパンデミックや気候問題、そして脆弱なサプライチェーンなど、世界の共通課題を解決するヒントがある気がします。

最後になりましたが、三島沢地工業団地の皆さんと皆さんを支えるご家族のご健康とご活躍を祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。

関本明彦副理事(東海金属工業(株)副社長)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別のご厚誼を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年もコロナ感染症による影響が多岐にわたるものとなり、感染予防対策が余儀なくされました。そんな中、メジャーリーグ大谷選手の二刀流の活躍など明るいニュースもありました。十月には岸田新政権が発足し、衆院選挙において自民党が絶対安定多数を確保しスタートしました。企業を取り巻く環境は、経済回復による需要とコロナによる特需の中、原材料の高騰、半導体の供給不足による操業停止等、様々な影響を受けた一年でした。

新年を迎え、コロナ・オミクロン株による第六波が発生し、出端を挫かれるスタートですが、新たな方向性を見出し、更なる飛躍の年とする為、出来ることを確実に成し遂げる一年とします。

今年も、宜しくお祈りいたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

コロナ禍で幕を開けた2021年は緊急事態宣言や3つの大きな感染拡大の波に見舞われるなど、組合活動をはじめ組合員の皆様方の事業活動も今までに経験したことのない状況下で多くの制約を受けた1年でした。

2022年の十干支は「壬(みずのえ)」、十二支が「寅」の年に当たるので「壬寅(みずのえとら)」です。「壬」は植物の内部に種子が生まれた状態を表し、「寅」は春の訪れとともに植物が根を張って土から芽を出す状態を示します。そのため「壬寅(みずのえとら)」は厳しい冬を超えて、芽吹き始め新しい成長の礎となるイメージです。「新しく立ち上がりこと」や「生まれたものが成長する様」を暗示する縁起の良い年だそうです。

過去の寅年を振り返ると、世界ではいくつもの長期独裁政権の崩壊があり、我が国ではオイルショックを契機に省エネ・節約志向が高まったり、金融界においては規制緩和による競争促進が本格化した年でもありました。身近な県内では1974(昭和49)年 伊豆半島沖地震発生(マグニチュード6.9)・七夕豪雨、県内各地で大被害、1986(昭和61)年 斎藤滋と史知事就任(組合竣工記念碑は知事の筆)、1998(平成10)年 多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」開館・JR東静岡駅開業、2010(平成22)年 新湖西市(旧湖西市・新居町)と新富士宮市(旧富士宮市・芝川町)が誕生、平成大合併に区切り・ジュピロ磐田が12年ぶりにナビスコ杯優勝・久能山東照宮の県内建造物として初の国宝指定、などがあげられます。

まだまだ新型コロナウイルスの収束が見いだせない中ではありますが、干支にちなみ、コロナ終焉後の新たな社会・経済の成長に期待するとともに1日も早く組合員の皆様にとっての日常が戻りますように祈念いたします。

事務局長



2022
JAN

50号

団地だより

三島沢地工業団地協同組合事務局長発行

団地案内看板が新しくなりました



デザインが新しくなった看板

旧団地案内板は2011年(平成23年)の更新設から10年余が経過しました。

案内板表面の劣化が著しくなった事から新デザインでリニューアルしましたのでご案内いたします。

事業継続力強化計画(BCP)が認定されました

「事業継続力強化計画」は中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度で、認定を受けた中小企業は、税制措置や金融支援、補助金の加算などの支援策が受けられます。

昨年9月に、当組合の「事業継続力強化計画」が認定されました。



お知らせ

- ・「組合員新年会」はコロナウイルス感染防止対策のため中止となりました。
- ・今年度の「親睦ボウリング大会」は延期されました。

・組合事務所では切手・印紙の販売もしております。84円シール切手(10枚単位)の取り扱いもございます。どうぞご利用ください。※一部取り扱いのない券種もございます。

団地内常駐役員・従業員 人数調査協力のお礼とご報告

団地内の常駐役員・従業員数調査を毎年2回行っております。いつもご協力ありがとうございます。

・令和3年10月1日(カッコ内4月1日)付け人数

男性	499(510)名	役員	27(28)名
女性	345(362)名	合計	871(900)名

意外と種類が多い バラ科の植物たち

電気主任 渡邊



公園に多い樹木の桜。実はバラ科で、花が似ている梅や桃もバラ科です。白く小さな花が咲くユキヤナギも枝振りや名前からヤナギ科の植物と思いがちですが、バラ科の植物です。



サクラの花



ウメの花



ユキヤナギの花



モモの花

果物にも多いバラ科の植物 苺も梨もバラ科

桃、梅といえは果物ですが、苺も林檎もバラ科です。梨はもちろんスモモ(プラム)もこれにあたります。他にもブルーベリー、ネクタリン、ラズベリー、ブラックベリーもバラ科です。ただ、ブルーベリーはツツジ科になります。



リンゴの花



イチゴの花



ブルーベリーの花



ブルーベリーはツツジ科で、花はドウダンツツジのような花



バラの花

バラ科の花の区別、特徴は?

バラ科は広く世界中に分布していますが人間と密接に関係する植物が多いです。花の特徴が共通するものを集めたグループで以下の特徴で分けられています。

1. バラ科の多くは5弁の花びらを持つ。
2. 花びらは、1枚1枚分かれている。
3. 雄しべは多数、多くは雌しべも多数ある。

バラ科の植物は花の構造で分けられる植物群なので、ノイバラやセイヨウバラのようにとげがあるかどうかは関係ありません。なお、バラ科のバラは、国際的に共通であるRosaceaeという科名に対応する和名として日本植物分類学会が選定したものが用いられています。

果物・野菜も！バラ科の食べ物全般で似たアレルギー症状が...

カバノキ科(シラカンバ、ハンノキ)の花粉症の方が、バラ科の果物(林檎、桃、サクランボなど)で食物アレルギー症状を誘発することもあるそうです。個人差があるようですが、身近な植物(果物)であるだけに注意したいです。

輸出・国際局長賞受賞

カメヤ食品㈱

受賞おめでとうございます！

農林水産省では農林水産物・食品で輸出に取り組まれている優良事業者を表彰しています。この度カメヤ食品㈱の食品の輸出に係る取り組みが認められ、「輸出・国際局長賞」を受賞しました。



←授賞式の記念撮影は岸田総理も一緒でした。
電谷社長:2列目右から2人目

農林水産省WEBサイトでも農林水産物・食品の輸出に取り組まれている優良事業者の取組内容(事例)として紹介されています。
<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/r301.html>

↓カメヤ食品㈱の取り組み...輸出成功のノウハウやヒントが詰まっています！

輸出・国際局長賞
カメヤ食品株式会社 (静岡県駿東郡清水町)
おろし本わさび わさびふりかけ わさびドレッシング
・EU
・韓国
・米国
・中国

わさびを生産・加工・販売し、海外に刺激を届ける！



- 輸出に取り組んだ背景**
- カナダの片田舎のドライブインに当社のわさびふりかけが販売されていたのを見て、わさびの需要があることを確信。2011年頃、中国、シンガポール、韓国、香港等の展示会に出店。
 - 2011年頃から始まったインバウンド需要に対応。海外観光客ツアーをグループ会社が運営するドライブインにて受け入れ、食事にはわさびと一緒に提供した。その後、インバウンド需要が落ち着いたが、味を知り、価値を知った外国の企業・人より輸入ニーズが増加。

- 課題と解決のポイント**
- 農業生産法人設立**
わさびを生産していた契約農家から、高齢化のため経営引継ぎを頼まれる。当社にはわさびの栽培技術がない。設立には、農外資本は1/2未満である必要がある。
 - 輸出国規制対応**
EUにおいて、日本で用いている材料(肥料や玉子、着色料等)がEUHACCPで規制される。米国においても、FDAによる食料規制や取り組みが求められる。
 - 顧客ニーズ対応**
国内向けおろしわさびは通常8ヶ月の賞味期限としているが、1年間の賞味期限を求められる。また、米国消費者ニーズとしてグルテンフリーが求められる。
 - 農外資本1/2要件は議決権を持たないことで解決。わさび栽培技術を持つ農家を従業員として雇用し、栽培継続。海外取引先商談時に農園を見学してもらい、製品の価値向上、早期の出荷を実現させている。
 - EUHACCP対応材料を調達。当初は思うような味を出せず苦労。規制を満たすアミノ酸等で調整し、1年かけて納得できる味づくりを行う。米国向けはFSMAに沿った安全管理に取り組み、出荷を実現させている。
 - 廃棄されるわさびを活用し、当社独自の辛み成分を開発。それを活用し、賞味期限延伸を成功させた。また、米国においてグルテンフリーを2021年夏に達成。現地小売店に特設コーナー設置し、PRされた。



- 今後の展望**
- 2021年11月にISO22000取得予定。
 - 米国ECサイトを2022年の年明けには稼働開始予定。米国内倉庫に商品を置き、米国消費者へ販売する。米国現地ディストリビューターと契約形態を取り決めていく。
 - カナダ工場を設立し、カナダの農園から仕入れたわさびを加工し、米国向けに出荷したい。
 - EU向け販売を増やしていきたい。EUでは、オーガニックや無添加・無着色等、食のこだわりを持つ消費者が多い。オーガニック等チャレンジも視野に入りたい。